

大俣小だより

「気付き・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成

12月号



「感謝」でしめくくる2025年

感謝の心を胸に走り抜いたマラソン大会

12月10日、冬空の下で、校内マラソン大会が行われました。開会式では、「支えてくれる人への感謝」と、「たんぽぽの根のような粘り強さ」という2つの目標を話しました。沿道では、民生委員や青少年育成センターの皆様が安全を見守ってください、保護者の皆様からは温かい声援をいただきました。その想いに後押しされ、子どもたちは、感謝の心を胸に、最後まで粘り強く走り抜くことができました。この経験は、子どもたちを、ひとり成長してくれたと確信しています。



【元気よく学校を出発する子どもたち】



【発表会に向けて体育館で練習する子どもたち】

感謝を音色にのせて

来る12月24日には、徳島県小学校管楽発表会が開催されます。練習を支えてくれた方々への感謝を忘れず、自分たちの努力を信じて、大俣小学校らしいステキな音色を響かせてきてほしいと思います。

校長室からのひとコマ

校長室にクリスマスの飾りを置いたところ、休み時間に遊びに来る子どもたちが増えました。みんなの何気ない話を聞くのが、私の日々の楽しみです。

先日、1年生が修理を終えた古い「糸車」を見に来てくれました。実物を回して感動した子どもたちが、教科書の「たぬきの糸車」を声を合わせて音読してくれた姿には、私も、思わず胸が熱くなりました。



この2学期、保護者の皆様には多大なるご支援をいただきました。早朝からのもちつきのお手伝いや校内マラソン大会での応援、また研修会に伴う下校時間の変更のご理解など、心より感謝申し上げます。行事の時だけでなく、私が休日に作業をしていると「お疲れさまです」と差し入れをいただいたり、修学旅行の帰校式では「ホームページでの発信を楽しく見ていました」と丁寧なお言葉をいただきたりして、皆様の温かなお心遣いに何度も感激いたしました。大俣小の子どもたちが、相手を思いやる言動ができるのは、身近に素晴らしいお手本である保護者の皆様がいらっしゃるからだと改めて実感しております。

冬休みは、ぜひご家族でこの2学期の頑張りを振り返ってみてください。「できるようになったこと」を話題に挙げ、たくさん褒めてあげてほしいと思います。3学期の始業式、子どもたちの元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。どうぞ、健康に留意され、皆様で輝かしい新年を迎えられますようお祈り申し上げます。